



## ＼ぼくの！わたしの！／ 学校じまん！

連載  
第10回 誠風中学校

学校のマスコットキャラクターが、  
生徒と活動を盛り上げています！！



あいさつ運動



▲誠！風みどり

特徴 風をよんで現れて、正しい風向きに導いてくれる。どんな逆風にも負けずに進む。とさかの部分が前から見るとハート型、横から見ると「love」の文字に見える。とてもかわいいデザインです。

誠風中学校では生徒会の取り組みで 2 年前にアイデアを募集し、100 種類以上応募されたデザインの中から、全校生徒による投票でマスコットキャラクターが誕生しました。名前は「誠！風みどり(せい！かざみどり)」です。このマスコットキャラクターが登場して以来、さまざまな活動を生徒と共に盛り上げています！

**クリーンアップウィーク** 月第3週目の朝に美化管理委員、生徒会役員、ボランティアとして来てくれた人で校内清掃活動を行っています。1 回参加するとマスコットキャラクターのスタンプをカードに1つ押してもらうことができます。4 つスタンプがたまると、『誠！風みどり』のオリジナルシールが1枚もらえます。朝から校内をきれいにし、1日のスタートがきれなのは気持ちが良いです。さらに、かわいいシールももらえるのでボランティアで参加してくれる人もたくさんいます。

**あいさつ運動** 「～あいさつで 広がるみんなの 笑顔の輪～」をスローガンに月に2回、あいさつ運動を行っています。このスローガンとマスコットキャラクターが描かれた旗を持ち、週番の副委員長と共に生徒会役員があいさつ運動を盛り上げています。だんだんと元気よくあいさつしてくれる人が増えて、笑顔の輪が広がってきました。

**音楽会の CD ジャケット** 校内音楽会の CD ジャケットのデザインも昨年度は「誠！風みどり」のものが選ばれました。このデザインを拡大した台紙に全校生徒が折った鶴を生徒会役員が貼り付けていき、その写真が CD ジャケットになりました。

他にもオリジナルタオルや生徒会通信などにも登場しています！！

誠風中学校データ  
▷生徒数 948 人 (平成 27 年 3 月現在)  
▷池浦町 4-1-1 ▷☎0725-33-5761  
<http://izumiotsu-ed.jp/jh-seifu/hp/>



防災無線の内容が聞き取れなかった場合に、電話で放送内容を聞くことができます！

みんなでやろう、くんれんを！

☎0800・200・3890  
(通話料無料)

## 同報系防災行政無線 電話自動応答サービスの 運用を開始します

同報系防災行政無線とは

同報系防災行政無線の屋外拡声子局（屋外スピーカー）をご存知ですか。

屋外スピーカーは、市内の避難場所など 67 か所に設置し

ており、災害や避難に関する情報など市民の皆さんにお知らせする重要な施設です。

また、緊急地震速報や津波予警報、弾道ミサイル情報などの国民保護に関する情報などは、国の「全国瞬時警報システム（Jアラート）」と連動しており、昼夜を問わず自動起動し、瞬時に屋外スピーカーからお知らせします。

**電話自動応答装置**

4 月 1 日から「電話自動応答サービス」の運用を開始します。

「屋外スピーカーから放送が流れたようだが聞き取れなかった」「放送内容をもう一度確認したい」、このような場合に対応するため、「同報系防災行政無線電話自動応答装置」を設置しました。

みんなでやろう、くんれんを！

通話料無料のフリーアクセス「0800・200・3890」にお電話いただければ、放送された内容をもう一度聞くことができます。携帯電話からも利用可能です。

なお、電話が混みあっている場合は、つながりにくいことがあります。しばらくしてから、おかけ直してください。また、電話のかけ間違いにご注意ください。

問合 危機管理課（市役所 4 階）



## 泉大津市参画及び協働の推進に関する条例が施行

# みんなでつくろう！ つながりを感じる「いずみおおつ」

市民が主役の活力のある豊かな地域社会をつくることを目的に 4 月 1 日から「泉大津市参画及び協働の推進に関する条例」が施行されました。今回は条例の内容や取り組みについてご紹介します。

なぜ、参画と協働が必要な？

人とのつながりが弱まっている

ひと昔前はご近所同士で夕飯のお裾分けをする光景が見られたように、日ごろから「向こう三軒両隣」関係ができていました。しかし、マンションの増加、サラリーマン世帯の増加、価値観の多様化などライフスタイルの変化により地域の人のつながりが弱くなっていると言われていました。

今こそ、住み親しんでいる地域に目を向けて、市民の皆さんと行政がお互いに協力して「オール泉大津でまちづくり」に取り組むことを通じて地域の人のつながりを取り戻そうというものです。

「協働」ってなに？

「きょうどう」と言えば、「共同」や「協同」という言葉を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。では、違いはどこにあるのでしょうか。

- ▷共同…複数の人、団体が一緒にすること（立場ー同じ・活動内容ー同じ）
- ▷協同…複数の人、団体が力を合わせて一緒にすること（立場ー違う・活動内容ー同じ）
- ▷協働…複数の人、団体が1つの目的を達成するため補い合って協力し合うこと（立場ー違う・活動内容ー違う）

つまり、「協働」は1つの目的を達成するために、立場の違う人たちが、違う活動を通じて、それぞれが補い協力し合うという意味になります。

なぜ条例なの？

「協働」の意味を説明しましたが、「オール泉大津でまちづくり」といってもいろいろな立場の人たちがまちづくりに関わることになるので、目標とするまちの姿や役割分担などのルールを共有することが大切となります。こうしたことを基本的な約束事として定めるためこの条例をつくりました。

条例はどのようにつくられたの？

市では、平成 26 年 3 月に検討会を設置し、市民、地域団体や市民活動団体の代表者をはじめ、学識経験者、市職員を

含めた委員により検討を重ねた内容をもとに素案をつくりました。平成 26 年 10 月にはフォーラムを開催、広く意見募集を行うなどして、条例案を作成し、12 月の市議会で可決されました。

どのような内容の条例なの？

この条例は、主に 15 の項目からできています。大きく分けると「目的・決まり事」「まちづくりを担う人たちとその役割」「市政への参画」「協働の推進」の 4 つとなります。

条例では、誰がどのようにまちづくりを担うかについて、次のことが書かれています。

- ▷市民…みずからがまちづくりの主体であることを認識し、自主的にまちづくりに参加するよう努める
- ▷市民公益活動団体…①多様なまちづくりの主体と交流・連携を図りながら活動を推進するよう努める ②みずからの活動の内容を広く情報発信し、活動への市民の理解、参加を促進するよう努める
- ▷事業者…みずからの特性と資源を生かし、地域の一員として自主的にまちづくりに貢献するよう努める
- ▷市…①市民公益活動が活発に行えるよう環境整備を行い、参画と協働の機会をつくるよう努める ②市政における情報を積極的に提供し、市民から広く意見を求め、施策に反映させるよう努める

この条例に込められた想いを大切に、市民、行政が共に、協働の考え方や意味を理解しながら、今日よりも明日を豊かに、誰もが住み続けたいまちの実現を目指し、「オール泉大津」でまちづくりを進めていきましょう。

まちづくりの活動をはじめませんか？

この条例には、市民の役割としてまちづくりに主体的に取り組むことが書かれています。市民の皆さんのそうした活動がより良い地域の形成につながります。市内では、身近にさまざまな活動が行われていますので、できるところからはじめてみませんか？

問合 人権市民協働課（市役所 1 階 2 番窓口）

## 地域の活動、市民公益活動を応援します ～市民活動支援センターをご利用ください！～

市民活動支援センターでは、すでに活動をしている人、またこれから活動を始めた人をさまざまな面でサポートしています。お気軽にご相談ください。

### センターからのお知らせ

「まちづくり井戸端会議」を開催します！ 泉大津のまちをテーマに、わいわいがやがや皆で集まり意見交換しませんか？「何かしたいと思ってるけど、何をしたいかわからない人」も大歓迎です。新たな人との出会い、経験豊かな人々の出会いによって、新たなヒントやつながりが生まれるかもしれません。ぜひ、ご参加ください。

日時 4 月 25 日(土) 午後 2 時～4 時  
場所 市民活動支援センター（テクスピア大阪 5 階）

参加対象者 どなたでも参加できます（参加無料・事前申込要）

定員 20 人程度

申込・問合 市民活動支援センター（☎24・9016）

## 市内で活動をしている団体の皆さんへ

がんばる団体への応援補助金の申請を受付中！

平成 27 年度の補助金申請を受け付けています。4 月 30 日(木)までとなっていますので、ぜひご検討ください。詳しくは広報いずみおおつ 3 月号 10 ページをご覧ください。

事業説明会を開催（事前予約要）

日時 4 月 7 日(火) 午後 7 時～

場所 市役所 4 階 402 会議室

問合 人権市民協働課（市役所 1 階 2 番窓口）



# これからの時代の「生涯学習」 集い、学び、結び、次へ届ける。知の循環が社会を発展させる鍵となる

地域における「学び」のあり方、そして今後の泉大津の生涯学習について、市民の皆さんとともに考える生涯学習フォーラムを3月1日に開催しました。当日の講演の内容をお届けします。

生涯学習を進めるには、市民どうしが  
つながり循環することが重要。

◆市長あいさつ  
伊藤 本市の課題である少子高齢化の時代に向けて子育て世代や高齢者が安心安全に暮らせるまちづくりのために、このフォーラムを契機として、市民が積極的に生涯学習に関わってほしいと思います。

◆基調講演  
岡崎 すべての市民が主体的に学ぶことが生涯学習の基本であり、生涯学習を進めるには市民

- ◎基調講演：  
岡崎裕（プール学院大学教授・社会教育委員）
- ◎パネルディスカッションパネラー：  
富山浩三（大阪体育大学教授・社会教育委員）  
井上敏（桃山学院大学准教授・社会教育委員）  
車谷喜博（社会教育委員会議長）  
伊藤晴彦（泉大津市長）  
富田明徳（泉大津市教育長）
- （敬称略）

どうしがつながり循環することが大切です。ところが、生涯学習施設を対象としたアンケート結果を見ると、活動が若い世代につながりにくくなっている現状があります。

井上 博物館学芸分野の立場から言えば、何度も繰り返し訪れてみたい魅力ある博物館施設をつくるのが、生涯学習の「持続的発展」や「循環」の前提になるといえます。

富山 スポーツの視点から見ると、スポーツを通じて多くの人

集って学んで得た知識を  
ほかの人へ発信していつてほしい。

富田 本市では、生涯学習施設で活動しているクラブ活動の種類や数が多いので、これを生かすことができないかと思っています。

車谷 公民館や図書館を利用する熱心な市民がいる一方で、同じ顔ぶれが多い現状もあります。さまざまな生涯学習施設で実施している活動をより多くの

が一緒に楽しめる環境をつくることで公共性が高まり、学びの循環が広がるといえます。

◆パネルディスカッション

岡崎 泉大津市は市域が狭いで、顔が見えることが特徴であり、また強みであると思います。皆さんが考える泉大津市の強みは何でしょうか。

伊藤 地域における人のつながりがよく残っている反面、新しいものを受容しにくい保守的な面があると思います。少子高齢化とはいえ、若い世代もおられるので、この世代の活用が課題になると考えます。



フォーラムの様子

進につながるのではないかと思います。

富山 多種目・多世代・多志向のスポーツクラブを目指す「総合型地域スポーツクラブ」が地域スポーツクラブの新しい在り方だと思います。泉大津市にはまだそのようなクラブがありません。退職世代のマンパワーを生かした取組みを進めてはいかがでしょうか。

岡崎 こうした議論を踏まえて、今後の目指すべき姿について、ご意見をお願いします。

伊藤 生涯学習活動を行っている人は「集まり」「学ぶ」「結ぶ」はありますが、もっと「届ける（発信する）」ということがあつ

## ▷これからの時代の生涯学習

でもいいのではないか、と思います。例えば公民館の料理クラブに参加している人の多くは、ただ友達をつくって楽しみたい、と思って参加していますが、頑張った料理のレシピを本にまとめて地域や近所に配ったり、発表するということなどがあってもいいのではないのでしょうか。生涯学習の発展に積極的に関わる市民になってほしいと思います。

富田 学校現場でさまざまな市民ボランティアが関わっていますが、高齢化が問題になっています。一方で、働く世代は仕事に忙しくてなかなか活動に関われません。技能を持った働く世代の掘り起こしができないか、と考えています。

車谷 かつては、さまざまな世代の人たちが地域活動に参加し

ていましたが、今は家族単位で行動する人が増え、地域活動に参加する機会が減少している現状があります。

岡崎 今後の生涯学習では社会性が重要になります。例えば戦争体験を次の世代につなげようとする時、高齢者が生涯学習活動に熱心に取り組んでいることは、強みになります。そのような知恵を、時代を超えて若い人に伝えていただきたいと思いま

富山 スポーツが持つ連帯感の活用が、子どもの見守りや地域の連携につながり、泉大津市が目指している、WHOが提唱するセーフコミュニティの理念にも合致すると考えます。まちづくりのツールとして、スポーツには大きな可能性があります。井上 22世紀は遠い未来のこと

ではなく、自分たちの孫が喜寿になるころは22世紀になっています。今、この場から行動をはじめなければならないのではないのでしょうか。

伊藤 市民どうしの交流を図りながら行政も取り組みを前に進めていくことが必要です。市民の皆さん自身が「主体者」になることが、学びを循環させる一番の方法です。このフォーラムにたくさんの方が参加して大変嬉しく思いますし、泉大津が必ず良いまちになっていくことを確信しました。

岡崎 生涯学習は学び合うことが大切であり、このフォーラムを生涯学習発展のための「キックオフ」と位置付けたいと思います。

## フォーラムに参加した市民の声

- ▷若い世代がなかなか参加しない。リーダーが育ってこないと危惧している。自分が楽しんで活動するだけでなく「次世代につなぐ」を意識して活動していきたい。(60代男性)
- ▷市長の料理の話は納得。英会話を学んでいる人はその知識をコミュニティに生かす方法を考えてほしい。つながりあう仕掛けづくりが大切だと思った。(60代女性)
- ▷地域のことをもっと知ってもらうことが大事だと思った。自分自身もっと多くの活動をしていきたい。生涯学習フォーラムが第2回と継続できたらいいなと思います。(20代男性)
- ▷すばらしいキックオフになったと思います。すばらしいゴールにつながるよう、市民みんなで頑張っていけたらと思いました。(40代男性)
- ▷年配者だけが生涯学習をしたいのではないので、子育て世代にも重きを置いてもらいたいです。(40代女性)

## 担当・生涯学習課のコメント

## 学びを地域に届けている団体を取り上げていきたい

生涯学習施設は、市民の皆さんの集いの場であり、学習の場であり、人と人とを結ぶ場です。このフォーラムをきっかけに、地域に「届ける」取り組みをされている団体を、今後紹介していきたいと思っています。



岡崎教授



富山教授



井上准教授



車谷議長



伊藤市長



富田教育長



# どうぶつといっしょに暮らすために。

守ってほしい  
4つのこと。

犬や猫などのペットは、飼い主にとっては家族同然。でも、マナーを守らなければ周囲に迷惑をかけてしまいます。また、日本の生態系をおびやかす外来生物の飼養にも

注意が必要です。動物たちと同じ環境で、私たちが快適に暮らしていくために心がけておきたいことをまとめました。  
問合せ 環境課（市役所2階21番窓口）



## 外来生物を飼う前によく考えよう！

最近、アライグマなどの外来生物（本来、その地域で生息していない生物）や外来魚などが多く繁殖して生態系に大きな悪影響を及ぼすなどさまざまな問題となっています。外来生物の多くは、人間のペットとして飼育されてきましたが、最後まで責任をもって飼育しなかった一部の飼い主が発端で繁殖して現在に至っています。

アライグマなどの外来生物の多くは、本来野生動物であり、犬や猫のように人間になつくことはありません。また、アライグマなど一部の外来生物の飼養は、法律で原則禁止されています。

外来生物や動物などを飼育する前には、よく考えてから飼育し、適正に管理するようにしましょう。

### アライグマなどを見かけたときの注意

- ①むやみに驚かせたり、触ったりしないようにしましょう。人間がおどかしたりしない限り、動物から攻撃したりしません。
- ②珍しいからといって、エサをあげたりしないようにしましょう。
- ③日ごろから、外来生物や野生動物などが住みにくい環境づくりを心がけましょう。雑草などは、定期的に刈り取り、残飯など（特にごみ収集日）も食い荒らされないように工夫しましょう。



## 猫と仲良く、共存できるまちづくり

のら猫（飼い主のいない猫）や放し飼いにされている猫によるフン・尿の苦情や、臭い・鳴き声の相談が増えていますが、そもそのら猫は、一部の飼い主が猫を捨てるなどの無責任な飼育を行ったことが発端となっています。さらに、のら猫へのエサやりによって繁殖を促進させるだけでなく、付近にフン・尿が放置され、また残飯にカラスや虫なども集まるため不衛生になり、近隣の人への迷惑となっています。

飼い猫は、飼育環境を整えることにより室内飼養することができるので、放し飼いにされている飼い主は、飼育方法を今一度見直してください。

のら猫をこれ以上増やさないためにも、一人ひとりがよく考え、行動し、マナーを守って人間と猫が仲よく共存できる環境をつくりましょう。

### 飼い主の皆さんへお願い

- ①放し飼いをやめ室内で飼育しましょう。交通事故やノミ・ダニなどによる病気（皮膚炎など）、迷子などを防げます。
- ②首輪などに名札などを付け、飼い主がわかるようにしましょう。
- ③近隣でフン・尿をさせないように、トイレのしつけをしましょう。
- ④繁殖を希望しない場合は、避妊・去勢手術を受けましょう。



## マナーを守り、犬を正しくしつけよう

飼い主による犬のフン・尿の放置に関する苦情や相談が増えています。愛犬もあなたの家族です。知らず知らずのうちに他人に迷惑をかけていませんか。快適に愛犬と暮らすためにも愛情と責任をもって飼いましょう。

生後91日以上経過した犬を飼うときは、狂犬病予防法に基づき、30日以内に飼犬登録が必要です。（一生涯に1回の登録です。）また、毎年1回狂犬病予防接種を受けさせ、飼い犬に鑑札および狂犬病予防注射済票を装着することが飼い主の義務となっています。

なお、飼い犬を散歩させる際には、リードをつけて犬を制御できる人が行い、フンは持ち帰り尿は水で流すなど、後始末は責任をもって行ってください。また、首輪などはきつく締め、リードを適切な長さに保ち、歩行者などに不安を与えないようにしましょう。

### 飼い主の皆さんへお願い

- ①ルールとマナーを守って、正しくしつけましょう。
- ②公園など公共の場所では決して放さないようにしましょう。
- ③最後まで責任をもって飼いましょう。
- ④繁殖を希望しない場合は、避妊・去勢手術を受けましょう。



## ごみをカラスに荒らされないために

最近、カラスがごみ袋を食い散らかすことが多く見受けられます。都市部に飛来するカラスの多くは、人間が出す生ごみをエサにするため集まり、集団で広範囲にわたり行動しているといわれています。

カラスの被害をなくすため、ごみを出すときは、次のような対策をお願いします。

### ごみを出すときの工夫

- ①ごみは、収集日当日に出しましょう。
- ②ごみは、ふたが付いたポリ容器に入れて出さか、ごみ散乱防止ネットなどを活用しましょう。
- ③食品のムダや食べ残しを少なくし「生ごみ」を減らしましょう。
- ④ごみ袋から「生ごみ」が見えないようにしましょう。

# まなびの場 公民館に行ってみよう！！

市内には南公民館と北公民館があり、市民の地域における学習支援（学習機会の提供・自主的な学習活動支援・学習相談）を行います。また、地域課題の解決の拠点として、地域づくりやまちづくりの支援、地域連帯意識の向上（コミュニティづくり）に寄与します。

講座やクラブ活動についてのご質問は各公民館へ。▷南公民館（☎33・1764 ㊟ 33・1300）▷北公民館（☎23・0505 ㊟ 23・0566）

講座名・種類・定員	日程	時間	受講料	内容
<b>はじめての色鉛筆イラスト</b> （文化関係講座） 対象：一般、先着20人	5/23（出）～7/18（出） （いずれも土曜日 全6回）	午前10時～正午	900円 （教材費含む）	絵を描くことに少しでも興味のある人、珍しい技法の色鉛筆イラストを体験してみませんか！自信が持てる秘策を体験して、絵が苦手という人もそんな思い込みとはサヨナラしませんか。持物：12色色鉛筆（ない場合も可）
<b>ジュニアダンス（フリースタイル）</b> （青少年育成事業） 対象：小学3年生～中学3年生、先着30人	5/17（日）～7/12（日） （いずれも日曜日 全5回）	午前10時～11時	500円	小・中学生の皆さん！ ストリートジャズ・ファンク・ヒップホップ・ジャズダンスなどフリースタイルのダンスをガンガン学びませんか！
<b>花梨いきいき大学</b> （高齢者講座） 対象：65歳以上、先着20人	5/1（金）～6/19（金） （いずれも金曜日 全5回）	午前10時～11時30分	500円 （材料費含む）	花梨いきいき大学で、支え合える地域の仲間と出会い、共に学び健康で充実した日々を楽しみませんか。
<b>やまびこ教室</b> （青少年育成事業）対象：小学3～6年生、先着24人	5/9（出）～7/11（出） （いずれも土曜日 全5回）	午前10時～11時30分 （変動あり）	1,300円 （教材費含む）	学校が休みの土曜日に、新しい友だちを作ってみなと一緒に楽しもう！ クッキングやソフトドッジボールなど、みなと一緒にチャレンジしよう！

※講座は、市内在住・在勤・在学の人を対象に開催します。講座を受講するには、受講料（教材費含む）が必要です。  
※上記の講座は、4月12日（日）午前9時から先着順で受け付けます。申し込みは、代金を添えて本人もしくは家族が直接南公民館へ。ただし、定員に満たない場合のみ、14日（火）から電話・ファクスでも受け付けます。なお、申込用紙は1講座1人1枚配布します。申し込み後のキャンセル・欠席については返金できません。

講座名・種類・対象	日程	時間	料金	内容
<b>卓球教室（随時申込可）</b> （学校週5日制対応事業） 対象：小・中学生	毎月第1・3土曜日	午前9時30分～正午	無料	毎月第1・3土曜日の午前中に講師のもと卓球施設を開放しています。気軽に参加してください。持物：上ぐつ・ラケット（ラケットの貸出し可）

講座名・種類・定員	日程	時間	受講料	内容
<b>久寿の木大学</b> （高齢者講座）対象：65歳以上、先着30人	5/15（金）～9/25（金） （いずれも金曜日・全6回）	午後2時～午後3時30分	無料 （バスツアーは実費）	「地域の仲間と共に支え合い、健やかで心豊かな人生を過ごそう」をテーマに、高齢者の仲間づくりと健やかな人生を送るための学習をします。
<b>あなたもフラガール</b> （健康講座） 先着30人	5/13（水）～6/17（水） （5/27休み・いずれも水曜日・全5回）	午前10時～11時30分	500円	ゆったりした動きに見えますが、腰を落とした独特の姿勢は意外に運動量があり、シェイプアップにも効果的です。どなたでも楽しんでいただければ、心身ともにリフレッシュします。
<b>気功教室</b> （健康講座） 先着30人	5/24（日）～7/19（日） （5/31、6/21休み・いずれも日曜日・全7回）	午前10時～11時30分	500円	呼吸法で、やさしく体をほぐしながら無理せず自然な動きを繰り返すことで、これからの病気予防、健康維持を図るため気功を始めてみませんか。
<b>基礎から学ぶ韓国語</b> （一般教養講座） 先着24人	5/17（日）～7/12（日） （5/31休み・いずれも日曜日・全8回）	午前10時～11時30分	800円 （テキスト代金）	ネイティブの講師から、文化や習慣・マナーそしてコミュニケーションなどを学んでみませんか。

※講座は、市民または在勤・在学の人を対象に開催します。講座を受講するには、受講料（テキスト代・教材費など）が必要です。  
※上記の講座は、4月18日（土）午前9時から先着順で受け付けます。申し込みは、代金を添えて本人もしくは家族が直接北公民館へ。ただし定員に満たない場合のみ19日（日）午前9時から電話・ファクスでも受け付けます。なお、申込用紙は1講座につき1人1枚配布します。申し込み後のキャンセル・欠席については返金できません。

講座名・種類・対象	日程	時間	料金	内容
<b>卓球教室（随時申込可）</b> （学校週5日制対応事業） 対象：小・中学生	5/9（出）～3/12（出） （10月は休み） （いずれも土曜日・全10回）	午前9時30分～正午	無料	第2土曜日の午前中、卓球施設を開放しています。初めての人でも講師が、基礎から指導していただきますので、気軽に来てください！持物：上ぐつ・ラケット（ラケットの貸出し可）

上記以外にも講座を予定しています。受講者募集の詳細は広報紙や市ホームページでお知らせします。